

## 家庭学習の習慣化で学力は向上する

～「ふさ子ども学習教室」の活用～

家庭学習は、時間としては「学年×10分+10分」が理想ですが、無理しない程度に「毎日行うことが大切」です。学力学習状況調査の結果では、学習が習慣化している子供ほど成績が良くなっています。つまり、「家庭学習の習慣化で学力は向上する」のです。

「じゃどうすれば良いか。」一つの方法として、「ふさ子ども学習室」の活用があります。

「家ではなかなか勉強しようとしなない」、「家の人が帰

るまでどうしても遊んでしまう」、「一人で学習しようとしても気が向かない」などという子供たちのために「ふさ子ども学習室」に、週1回学校を終えてから家の近くにある教室を選んで出かけます。「ふさ子ども学習室」は、どの教室でも地域のボランティアのみなさん(スタッフ)が笑顔で迎えてくれ安心して学習が進みます。スタッフは、我孫子市社会福祉課の学習支援員の登録をされていて、元教員の方や高校生が丁寧に学習をサポートしてくれます。学校で配付した「家庭学習のてびき」をもとに、その日の学校の学習で、わかったことを振り返り、わからなかったことを教わってわかるようになります。そして、教科書を開いて明日の学習するところを読んでもみます。これで家庭学習はおしまいです。明日の授業は、おどろくほど良くなるようになります。

「こばん」スタッフの皆さん

他の曜日は、学習室でやったとおり毎日家で行えばお家の人がいなくても、学習習慣が定着します。

このような地域で子供を育てるという考えで行われている「ふさ子ども学習室」の活動は、令和2年度に文部科学大臣賞を受賞しています。そして、学習習慣を身につけさせたいという子供たちや保護者、学校の願いを実現するための心強い支援活動となっています。学校としても毎日学習した成果を担任が見て励ますなど連携していきたく考えています。

がんばろう 布佐っ子



近隣センターふさの風



図書館前「こばん」

校長 小林 道治